

事業実績書

団体名	おおどのコミュニティ協議会
-----	---------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

心豊かに暮らし続けることができるまちづくり 「住んでみたいまち 訪れたいまち 働くところのあるまち」

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	連携強化とつながる活動の推進	
	事業名	決算額	945,667円
		決算額	170,524円
	視点	各団体との連携と協働	
②	事業名	決算額	83,405円
③	視点	地域個性を活用したにぎわいの創出	
	事業名	決算額	1,258,402円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① ホームページによる地域情報(会議や行事、各事業報告など)の発信は、地域のことが一目でわかるホームページを目指し取り組んできた。引き続き関係団体との連携強化を進める。第4期地域づくり計画策定会議を開催し、協働のまちづくりを実践していくために地域の団体が互いに補完し合う「チーム大殿」構想を進めていこうという思いを計画書(案)にまとめた。つながりでは研修(学校シリーズ)を通して地域の皆さんの交流や新たな人材発掘を目指し取り組んできた。庭木の学校でボランティアへの参加意識の把握ができたほか、山の学校やものづくり講座は若い世帯向けにまちづくり事業を知ってもらおうきっかけとして、成果があった。	◎
② 三世代交流事業(ウォーキング・なかよしフェスタ・大殿ペタンク大会・七草粥教室&昔遊び)では、事業を通して「地域で顔の見える関係づくり」ができることを目指し取り組んできた。大殿ペタンク大会は、ニュースポーツを通じて楽しく三世代の交流が図られ、地区内の協力スタッフも増えてきた。ウォーキングは、観光ボランティアガイドによる史跡の説明を興味深く聞くことができ、地域への愛着につながった。また、なかよしフェスタ(小P)、七草粥教室&昔遊び(青少協)についても地域内の情報共有が図られ、たくさんの地域住民が参加した。	◎
③ 伝統文化の保存継承事業は、各町内会をはじめ、大殿中学校OTK(大殿地域に貢献し隊)や大勢のボランティアの協力によってつながりが広がっている。新企画(山車の新調、山大生のアイデア)で準備を進めた「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業は荒天で中止となった。事業の振り返りアンケートの集約結果を「持続可能な運営の工夫」に生かしていく。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第3期地域づくり計画に沿った活動の最終年、連携団体の増加や新しい運営委員・部会員の参画があった。運営委員会で「協働のまちづくりとおおどのコミュニティ協議会」や「つながる大殿七夕ちょうちんの灯事業」についての研修を行い、運営委員会と3部会(あんぜん・やすらぎ・にぎわい)の役割を再確認しながら進めてきた。年間行事予定表や部会別事業スケジュール表の活用により、各事業は地域づくり計画に掲げた課題解決のための事業だという認識も深められてきた。みんなで話し合い、「実施、検証、次へつなげる」という会議運営ができています。各事業や情報交換会などで会員同士の交流を図ることも引き続き力を入れていきたい。今後も地域課題は部会からのボトムアップという視点を大切にしていきたい。コミュニティ事業を知ってもらう、参加してもらう、参画してもらうという段階を踏んでつながっていけるよう、振り返りをしながら持続可能な運営を模索していく。また、第4期地域づくり計画書(案)にまとめた「大切にしたい大殿の魅力・良さ」を次世代につなげていけるような活動を目指していきたい。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	4,987,712円	4,987,712
	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:3名	
	(運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費	

事務局の運営体制	(成果・評価) 事業と予算の進行管理、業務の見直しと効率化、調整に重点に置いた運営に努めた。 (今後に向けて) 業務の見直しや調整に努めるとともに、「チーム大殿」としてのコーディネート機能のポストを置く。
----------	---

(2) 地域振興

事業名	地域情報の発信と広報活動事業	
事業費	141,998円	141,998
事業概要	(実施内容) ホームページの定期更新及びコミュニティだよりの発行。地域情報の収集と発信。 (実施時期) 平成29年4月～平成30年3月 (参加人数) 57人 (成果) コミュニティだより及びホームページで、地域情報や各事業の告知・報告を定期的に発信できた。 (評価) 情報発信は、事業の記録と地域内の情報共有の仕組みづくりという点で目標に達した。情報の一元化に向けた検討を進める必要がある。 (今後に向けて) 現状ベースでの情報発信とともに地域情報の一元化の準備を進める。	

事業名	体育振興事業	
事業費	123,568円	123,568
事業概要	(実施内容) 地域スポーツ促進につながる大会開催への活動支援。運動会資材の整備。 (実施時期) 平成29年5月～平成30年3月 (参加人数) 1,630人 (成果) 町内親睦運動会の種目支援は参加意識の醸成の一助になっている。 (評価) 地域スポーツ振興のため、実行委員会や各団体との連携強化を視野に実施できた。 (今後に向けて) 引き続き、事業を通じて連携強化を図っていく。	

事業名	地域コミュニティ推進事業	
事業費	945,667円	945,667
事業概要	(実施内容) 第4期地域づくり計画策定会議の開催。町内会を中心とした各団体との連携強化。活動拠点の充実。 (実施時期) 平成29年4月～平成30年3月 (参加人数) 550人 (成果) 話し合い意識の醸成が図られ、組織運営が強化されてきた。 各団体との連携強化や事業見直し・統合に向けた事務局会議を開催した。 (評価) 会議の開催回数の見直しや参画した実感のある運営に向けた工夫が必要になってきた。 各団体がそれぞれの持ち分を活かし合う体制をさらに進めるコーディネート機能が必要。 (今後に向けて) 地域活動の拠点としての「チーム大殿」構想、各団体や住民をつなぐコーディネート機能を模索する。	

事業名	地域コミュニティ推進事業(つながり)	
事業費	170,524円	170,524
事業概要	(実施内容) 研修(学校シリーズ・ものづくり講座)の開催。 (実施時期) 平成29年4月～平成30年1月 (参加人数) 140人 (成果) 庭木の学校では参加者のボランティア意識の把握ができたほか、ものづくり講座を託児つきで実施し、子育て世代の参加を促した。山の学校では仁保地区との連携や参加者同士の交流が図られた。	

	<p>(評価) 研修・学校シリーズは、参加者にたいへん好評であった。 開催方法を工夫することでさらなる地域住民の巻き込みが期待できる。</p> <p>(今後に向けて) 地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなどの工夫が必要。</p>
--	---

事業名	地域コミュニティ推進事業(次世代育成)	
事業費	183,884円	183,884
事業概要	<p>(実施内容) 成人式記念写真とメッセージ集の贈呈及び大殿ロードレース大会の活動支援</p> <p>(実施時期) 平成29年12月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 600人</p> <p>(成果) 記念写真とともに贈呈する新成人おめでとうメッセージ集は大殿小4年生や地域の皆さんに原稿を依頼し、部会員による手作り製本で思いのこもったメッセージ集ができた。 大殿ロードレース大会で振る舞われるうどんは、地域の有志グループが担当し、OTK(大殿地域に貢献し隊)とともに温かい交流の場を提供してくれた。</p> <p>(評価) やすらぎ部会や地域の有志グループが継続して参画・参加しており、地域ぐるみで次世代を育成しようという体制の一翼となっている。</p> <p>(今後に向けて) 部会での事業実施の見直しのほか、持続可能なものへと工夫していきたい。</p>	

事業名	助成金交付事業	
事業費	260,000円	260,000
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり計画に掲げた課題の解決につながる事業を実施する5団体に助成金を交付した。</p> <p>(実施時期) 平成29年4月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 65人</p> <p>(成果) 助成金審査会において厳正な審査、次年度募集への申し送り事項が整理できた。</p> <p>(評価) 事業告知のため、さぼらんにて広報紙を増刷して置いてもらうよう依頼したほか、事務局でのサポートにより申請しやすい体制に努めた。</p> <p>(今後に向けて) 募集の事前告知、広報の工夫により、応募団体を増やすように努める。</p>	

(3) 地域福祉

事業名	三世代交流事業	
事業費	83,405円	83,405
事業概要	<p>(実施内容) 三世代交流ウォーキング及び大殿ペタンク大会の開催。 なかよしフェスタ竹細工コーナー及び七草がゆ教室の昔遊びへの活動支援。</p> <p>(実施時期) 平成29年10月22日、12月3日、11月26日、平成30年1月7日。</p> <p>(参加人数) 480人</p> <p>(成果) ウォーキングは雨天のため歴史講座に変更して実施した。大殿ペタンク大会は協力スタッフの参加も増え、参加者同士の交流が図られる運営ができた。なかよしフェスタや七草がゆ教室の昔遊びへ活動支援も参加したボランティアの皆さんが子どもたちとのふれあいを楽しんでいた。</p> <p>(評価) 参加者やボランティアスタッフが楽しく交流できる場になってきているが、関係団体間においては、事業目的について共通理解を進めていきたい。</p>	

	(今後に向けて) 交流機会の確保につなげるアイデア、事業統合など部会協議で共通理解を図っていききたい。
--	--

事業名	健康教室事業	
事業費	13,440円	13,440
事業概要	(実施内容) 行くっちゃ！おおどの健康体操教室への活動支援。 (実施時期) 平成29年5月～7月、9月～11月 (参加人数) 480人 (成果) 高齢者の健康づくりに役立った。健康寿命を伸ばすことに意欲のある人が集まり、健康体操教室は延べ12回開催し、参加者に好評であった。 (評価) 健康づくりへの意識啓発と、仲間づくりから各町内や地域で老人クラブ結成へとつながって行くことを期待している。 (今後に向けて) 総合事業サービスなど地域での支え合いについて、共通理解を図っていききたい。	

事業名	おおどのたすけあいのまちづくり体制整備の支援	
事業費	0円	0
事業概要	(実施内容) おおどのたすけあいのまちづくり体制整備の情報共有、支援。 (実施時期) 平成29年5月～平成30年3月 (参加人数) 80人 (成果) 部会での情報共有のほか、支え合いの意識や取組みを発信できた。 (評価) 予算執行の伴わない新規事業だが、部会での情報共有、コミュニティだよりを活用した情報発信という目標は達成できた。 (今後に向けて) 引き続き情報共有を図り、新規ボランティア育成事業への活動支援を検討していききたい。	

(4)安心・安全

事業名	大殿地区安心安全のつどい事業	
事業費	73,045円	73,045
事業概要	(実施内容) 安全意識・災害時の意識啓発を目的とした「大殿地区安心安全のつどい」事業の開催。 (実施時期) 平成29年11月12日 (参加人数) 550人 (成果) 災害時対策への意識啓発として、非常持ち出しクイズやパネル展示、大声大会や非常食の試食、日赤山口県支部協力コーナーなど、部会協議を重ねて企画を練り上げた。 (評価) ふるさと祭りと同時開催による啓発活動は、体験コーナーを通じていざという時を考えるきっかけづくりの一步になった。不良消火器の回収は関係者からとても良い取り組みだと評価された。 (今後に向けて) 各コーナーの責任者(部会スタッフ)不足という課題をふまえ、企画運営を検討していききたい。	

事業名	自主防災活動推進事業	
事業費	0円	0
事業概要	(実施内容) 自主防災についての勉強会等については本年度実施なし。 (実施時期) 平成29年5月～平成30年3月 (参加人数) 80人	

	<p>(成果) 勉強会の実施には至らなかったが、部会協議で情報集集に努めた。</p> <p>(評価) 自主防災活動推進のアイデアなど部会協議を深めていく必要がある。</p> <p>(今後に向けて) 防災に関する情報収集を進め、町内連合会等との共催で視察や懇談会などを検討したい。</p>
--	---

事業名	地域見守り活動事業	
事業費	18,000円	18,000
事業概要	<p>(実施内容) 見守りに必要な資材の整備(啓発用横断幕)及び情報交換。</p> <p>(実施時期) 平成29年4月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 80人</p> <p>(成果) 啓発用横断幕「ゾーン30」を整備し、新たな掲示場所2箇所に設置した。</p> <p>(評価) 継続事業としてマップの活用、見守り資材(旗など)の表示内容の精査など検討が必要。</p> <p>(今後に向けて) 見守り活動の情報交換や必要な資材の整備(調査研究)など部会での協議を深めていきたい。</p>	

事業名	反射鏡設置事業	
事業費	0円	0
事業概要	<p>(実施内容) 各町内会に要望調査を行ったが、申請がなかったため未実施。</p> <p>(実施時期) 平成29年4月～平成30年3月</p> <p>(参加人数) 7人</p> <p>(成果)</p> <p>(評価) 反射鏡設置の補助は申請がない旨、法定外公共物等審査会に報告した。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して地域内の要望を集約していきたい。</p>	

(5)環境づくり

事業名	環境整備事業	
事業費	88,760円	88,760
事業概要	<p>(実施内容) 地域内の環境整備(作業資材費及び処分費)</p> <p>(実施時期) 平成29年4月22日、9月30日</p> <p>(参加人数) 30人</p> <p>(成果) 庭木の学校での研修にあわせて環境整備を実施したほか、必要な資材を整備した。</p> <p>(評価) 研修事業(庭木の学校)への参加者の声からも環境整備への関心は高い。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、住みよい環境づくり、環境保全や美化意識の高揚に向けて、地域のニーズに沿った研修や環境整備を実施していきたい。</p>	

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)平成28年度より市に返還	
事業費	0円	0
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>(実施時期)</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果)</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて)</p>	

(6)地域個性創出

事業名	伝統文化の保存継承事業	
事業費	1,258,402円	1,258,402

事業概要	<p>(実施内容) 地域内の祭りの実施及び活動支援。地域の文化資源の整備を実施した。 (ほたる観賞Week・「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業・大殿ふるさとまつり)</p> <p>(実施時期) 平成29年6月3日・8月6日・11月12日</p> <p>(参加人数) 1,900人</p>
	<p>(成果) 地域内のまつりは、町内会をはじめ、大殿中OTK(大殿地域に貢献し隊)や大勢のボランティアの皆さんの協力によって継続実施できている。 「ほたる観賞Week」は地域資源の保護と大殿らしいおもてなし(ほたる回廊)の視点で取り組んでいる。 「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業では子ども歴史学習会を地域交流センターの社会教育事業と共同で実施したほか、新たに山車の新調や竹の保管場所提供など地域の企業からのご協力も頂いて準備が進められた。また、コラボ企画として「山大生の縁結び企画」なども用意していたが、荒天のため8月6日当日のイベント・事業は中止した。 「大殿ふるさとまつり」は、地域のにぎわいを創出できた。(実行委員会の総括)</p> <p>(評価) 「ほたる観賞Week」、「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業では、地域のつながり・地域の誇り・地域への愛着が感じられる事業になった。また、「ふるさとまつり」はスローガン「人と人が出会い、つながる。みんなで作る大殿のにぎわい」を達成できた。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、「持続可能な」運営を工夫していきたい。ちょうちん事業では、平日のボランティア運営や、町内会への安全管理面の丁寧な説明などアンケート結果をふまえた運営を行っていく。 部会事業の統合整理、地域のお宝情報の共有や地域資源の保全に関するルール協議を図っていきたい。 大殿ふるさとまつりは、地域のにぎわいの場として今後も実行委員会の活動支援を行っていく。</p>